

《短報》

34年ぶりにムツキボシツツハムシを採集

田中伸一

〒746-0065 山口県周南市上迫町2-40

ムツキボシツツハムシ *Cryptocephalus ohnoi* Kimoto, 1983 は、ハムシ科 Chrysomelidae, ツツハムシ亜科 Cryptocephalinae に属し、鈴木・南 (2018a, 2018b) によれば、1都1府12県に分布し中国地方からは山口県だけから確認されている。鈴木・南 (2018a) では、広島県に分布するとされていたが、後に鈴木・南 (2018b) で訂正された。採集記録の少ない種のようなのである。

山口県からは1989年(鈴木・南, 2018b)以来、採集記録はないようである。筆者は34年ぶりに採集したので報告する。採集者はすべて筆者であり省略した。

採集記録

岩国市美和町秋掛羅漢山(標高960m) 2 exs., 21-VII-2023. (豊田ホタルの里ミュージアムで保管予定)

同 上 1 ex., 26-VII-2023. (下野誠之氏保管)

同 上 目視, 4-VIII-2023. (木が濡れていたためか採集できなかった)

採集状況

羅漢山の登山道は3コースあるが、一番東にある美和町からの登山道を使用した。登山してすぐの登山道脇にあるモミの木をスウィーピングにより採集した。モミの木は1本だけであり、ほぼ単独に生えていた。周りには、アカマツの幼木が多数あるが調査はしていない。少ないながらも林内にあるモミの木もスウィーピングしたが採集できなかった。鈴木・南 (2018b) では、羅漢山麓の牧場にカラマツ林が存在するとしているが、30年以前の羅漢山の様子を筆者は知らないが、見る限り牧場の周りはアカマツ林であり一部ヒノキが生育していた。



図1. 山口県で採集されたムツキボシツツハムシ。※スケール: 1mm

引用文献

鈴木邦夫・南 雅之 (2018a) キボシツツハムシとムツキボシツツハムシ (ハムシ科, ツツハムシ亜科) の地理的分布と寄主植物. SAYABANE N. S., (30): 10-21.

鈴木邦夫・南 雅之 (2018b) キボシツツハムシとムツキボシツツハムシ (ハムシ科, ツツハムシ亜科) の地理的分布と寄主植物 (補遺). SAYABANE N. S., (32): 14-15.